



Departures

Destination	Gate
ArkAir	1
Billingham	2
Cape HEIGHTS	3
Corby's	4
J.J. Mercer	5
Fox Umbrellas	6
James Grose	7
Joshua Ellis	8
Plaidie	9
QMSTION	10
Tusting	11
Contact Us	12

GREENWICH

Autumn / Winter 2021



Find Your Destination



England Gate
1

アーケアー
ArkAir



ArkAirは、英国ミリタリーブランドARKTISがリリースするファッションレーベル。これまで世界中の軍隊や特殊部隊に提供してきたオリジナルのデザインをファッションと紐づけることを旨としています。

創業以来Made in UKを貫いており、すべての製品を英国の自社工場で生産しています。イギリス発祥のブランドは数多くありますが、生産もイギリス国内でおこなうブランドは非常にレアなケースです。ArkAirの製品は、長年に渡って軍へ供給してきた経験と、ブランドポリシーである「Quality of Endurance(耐久性という品質)」に基づいて作られています。

AW21のコレクションテーマは‘METAmorphosis’。
家で過ごす時間が増えた2021年は、人々の価値観・生活習慣が大きく変化したと言えます。変わりゆく世の中と今までの「普通」を覆すような出来事が多かった2021年からインスパイアされ、「変化」をテーマにコレクションが誕生しました。軍服のアーカイブをベースにした新しいカモ柄をリリースした、よりベーシックで新鮮なラインナップをお楽しみください。

ブランド詳細



<http://greenwich-showroom.com/topics/5345.html>





ビルingham

Billingham

1973年、英国・バーミンガムで創業したBillingham。
その歴史は、写真撮影が趣味の夫・マーティン・ビルinghamのために、妻のロス・ビルinghamが手作りしたカメラ機材用バッグをルーツに持ちます。

やがてその手作りバッグは評判となり、英国伝統のデザインスタイルの中にビルingham独自の機能を備えたバッグは夫婦二人三脚で事業を広げ、現在では英国を代表するバッグブランドとなりました。

Billinghamの代名詞のカメラバックを体現するモデルのSystem 1に加え、これまでバッグの小型化を続けていたコレクションを展開しています。一番人気のシリーズWickham Satchel Small・XSmallは、雨が降ってもたまらないように丸みをもつような蓋と、フラップの下にはポケットがついているため、開けずして簡単に物を取り出すことができます。小旅行にも対応できる容量と、合理的なストラップシステムは使用に従い馴染んでくる喜びを与えてくれます。

背景のあるブランドを求める人、愛嬌のあるルックスを求める人、どちらにもお勧めできるのがBillinghamです。



Billingham

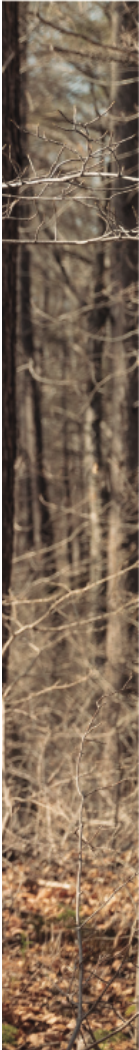
ケープハイツ

Cape HEIGHTS



雄大な自然に囲まれたニューイングランド地方にあるハドソンで創業したCape HEIGHTS。最新作を手掛けるにあたり、今季はアウトドアフィールドで役立つ機能性を軸にした都会的なデザインとは何かを、自然環境に優しいものづくりとは何かを改めて考えました。そこでアイコン的なフリースでは新色のブルーやグリーンを、ダウンウェアではマッシュルーム系のアースカラーを中心としたカラーリングを提案。また、一部のフリースとダウンウェアの素材にはブランドでは初めてとなる環境に配慮したリサイクルポリエステルを採用。こうしたエシカルな素材使いは、創業して間もない1990年、他に先駆けてソーダペットボトルをリサイクル活用して高性能なフリースを作り出したCape HEIGHTSの先取の精神を象徴します。





Cape HEIGHTSのAutumn / Winter 2021シーズンは「都会に暮らす人々のためのアウトドアライフ」をテーマにしたコレクションを発表します。

原野、針葉樹、湖、川、焚き火、辺境、鱒釣り、野営…。現代を生きる私たちは、この新しい生活様式の中に今改めてアウトドアライフが必要であると考えています。なぜなら、不安定な社会情勢を背景に、自然の中に身を置く楽しさ、素晴らしさ、豊かさをこれまで以上に実感するからです。その感覚をかつての“Small Is Beautiful”や“Save Energy”に代わって現代の共通言語となった“Sustainability”という概念が研ぎ澄ませます。そして大気や水、土壌への汚染が少なく、エネルギーを浪費せず、資材を再利用し、量より質を求める社会を土台として、今まぎれもなく自然志向の時代が到来しています。

アウトドアライフは私たちの身近にあります。高い山へ登らなければ、極地への冒険をしなければ、海外の荒野を目指さなければ、四輪駆動のクルマに乗らなければならないというわけではありません。日常の中でも野外への眼や自然志向の心はじゅうぶんに育てられるものです。ほんのわずかな時間、ほんのわずかな場所に、野外活動の楽しみを見出すこともできるでしょう。だからこそ、アウトドアライフという考えはあくまで自然を身近に持たない、都市に暮らす人々(or都市生活者)のためのものです。実際に自然に囲まれた場所で暮らす人々にとって自然は、ただあるがままのもの。特別なものではないからです。自然を求めるのは、都会にやむなく暮らす人々であり、心の渇きを覚えている人々です。

都会に暮らす人々にとって、小さな自然とのふれあいはとても貴重です。一本の雑草、一羽の花、一尾の魚、一片の雲、一陣の風。そのすべてが価値を持つことになります。コンクリートのビルに囲まれて暮らしながら、残された小さな自然に気を配り、心の中に旅心を掻き立て、わずかな時時を見つけては都心や郊外の自然を求め歩く。それもまた立派なアウトドアライフと言えるでしょう。たとえ都会の真ん中にいても、心は彼の地の大自然に遊ぶことはできるし、野山や小川に囲まれた暮らし夢を見ることもできる。

だからこそ、Cape HEIGHTSのものづくりは機能至上主義であることよりも、その佇まいが洗練されているか、現代的であるかをとても重視するのです。Cape HEIGHTSのAutumn / Winter 2021のコレクションは、そんな気分を求める人々のためにデザインしました。限られた時間と場所の中、野外活動の魅力を理解し、その妙味を味わい、そこに自由の風を感じ取れる人々に、ぜひ最新作を着ていただければと思います。



England

Gate
4

コービーズ

Corby's



1909年イングランド中東部のノーザンプトンにほど近い町、コービーで創業し、第一次世界大戦中に英国陸軍省から初めて“トレンチコート”と命名された、世界でも初めてのコートの受注を受けた工場がCorby'sの源流です。

英国陸軍ばかりでなく、上流階級の顧客のために上質でヘビーデューティーなコートを作るファクトリーとして、最高水準の技術を有してきました。

英国を代表する名門ファクトリーにて長年培われた技術と、英国陸軍の厳しい需要に応えてきた高い機能性が、第一次世界大戦時のモデルを復刻した現代のトレンチコートの完成形として蘇りました。

CORBY'S



ジェイジェイマーサー

J.J. Mercer

紳士服の発祥の地でもあり、由緒ある伝統や歴史を重んじるイギリス。そして、アイビールックや西海岸のスポーツスタイルを総称するアメリカンカジュアルを生んだアメリカ。どちらも現代のファッション&カルチャーを語るうえで、外すことのできないものです。J.J. mercerは、その両方に精通する、ひとりの紳士を主役にしたストーリーを背景とするブランドです。メインアイテムは、ニットウェアとアクセサリ。ロンドンの工場生産されるプロダクトは、伝統的なハンドフレイム(手横編み機)製法によって生み出されています。1枚1枚、熟練した職人の手で編み機を動かして、編み地のパーツごとに編み目の詰まり方やテンションを調節できるため、自動編み機では表現できない、風合豊かで着心地の良いニット製品を作り出すことができます。そうして古き良きヴィンテージの風合いや趣を表現しながら、そこに色選びや配色の妙によって現代的な感覚を組み合わせることで生まれる“違和感”をセンス良く落とし込んでいます。

コレクションを構成するのは、フィッシャーマンニットやクリケットセーターといったトラッドなデザインのもの。そこに身頃の中央で縦に二分された、大胆な2トーンカラーが特徴のハイネックセーターがコレクションを彩ります。そして今季はクリケットニットにはブラウンが、ハイネックセーターにはホワイト×ベージュとライトグレー×ブラウンが新色として加わってリリースされます。



J.J. Mercer
original Mercer Quality™



出かけよう、
お気に入りの傘を着て。



嗜好品のような傘。



傘を「キミ」と呼ぶことにした。



さあ、自分らしい傘を。



FOX UMBRELLAS™
KEEPING YOU DRY SINCE 1868
Made in England



フォックス・アンブレラズ

Fox Umbrellas

1868年に英国のロンドンで創業したフォックス・アンブレラズが、世界初となる化学繊維の傘を開発したのが1947年。熟練の職人が丹精を込めて手掛けるその傘は瞬く間に市民に受け入れられ、その実力は英国王室御用達を授かることで、確かに認められました。現在は英国傘の代名詞として、世界中の紳士・淑女に愛され続けている由緒あるブランドです。

フォックス・アンブレラズの魅力を語るうえで最も重要なのはそのクラフツマンシップです。歴史と伝統に裏打ちされたモノ作りは、現代でも何ひとつ変わることはありません。ミリ単位で調整された木型を使う生地のカット、ミシンでの縫製、フレームの組み立て、そして天然素材を使用したハンドルの加工…。傘を作るすべての工程は昔ながらの製法を受け継ぐ熟練の職人たちの手作業によって行われ、1本1本、まさに命が吹き込まれていくように作られています。

そして、もうひとつ。フォックス・アンブレラズの傘は単なる“便利な雨具”ではありません。それを証明してくれるのが、傘を開いたときのフォルムと同様に（もしかするとそれ以上に？）こだわり抜かれた、閉じたときのスマートなフォルムです。これは、かつて英国人、特に英国紳士にとって、傘が雨をしのぐための道具であると同時にエレガントな佇まいを演出するステッキでもあったという英国固有の文化に起因するもの。フォックス・アンブレラズの洗練された美観は、英国紳士そして淑女たちの美意識によって磨かれ、生まれたものであるということが出来ます。

熟練の職人たちによる卓越したクラフツマンシップ。そして洒落者たちの美意識によって磨かれたスタイリッシュな佇まい。これこそが創業以来、数多くの顧客を魅了し続けてきたフォックス・アンブレラズの真髄であり、移ろう時代の中にあっても決して揺るぐことのないものです。

では、現代においてフォックス・アンブレラズの傘を所有することに、どのような価値や意味があるのでしょうか。2021年、私たちは改めてそれを考えてみることにしました。原点であるブランドフィロソフィーに立ち返り、そのレガシーに敬意を払い、自らのモノ作りと真摯に向き合う。そこから見えてくるフォックス・アンブレラズの真価。私たちが改めて確信したのは、フォックス・アンブレラズの傘は単なる“便利な雨具”ではないということです。それは所有者にしっかりと寄り添いながら、ライフスタイルを豊かに彩る特別なアイテム。いくつかの写真とともに、そんなフォックス・アンブレラズの魅力をお届けしましょう。

ジェームス・グロース

James Grose

19世紀後半に創業したJAMES GROSEの最初の最盛期は1930年代。当時のイギリスではオートバイ産業が発展しモーターサイクルジャケットの需要が一気に高まると、富裕層たちはより上質なアイテムを求めてJAMES GROSEを好んで纏うようになりました。

1970年のブランド休止から約40年後、工場に保管されているJAMES GROSEのヴィンテージジャケットが発見されました。推定1950年代のプロダクトは上質な素材を使用しており、製造技術も驚くほどの完成度でした。この1着をきっかけに2013年にブランドが復活を遂げることに。現在はロンドン市内唯一と言われるモーターサイクルジャケット専門ファクトリーで製造をしています。大工場かと思いきや、今でも家族経営で1点1点をハンドメイドで製造をしているのです。

今シーズンはMANILAやCLUBMANなどのレギュラープロダクトに加え、スウェードとナッパ加工のムートンジャケットが登場。上質な毛並みのムートンを採用し、型はシングルとダブルのライダーズタイプをご用意。ムートンジャケットのボリュームなサイズ感を押さえてコンパクトに設計されているので、シックで上品なスタイルにも楽しめる1着となっています。かつ、驚くほど軽量なので、この秋冬のアウトターに取り入れてみるのはいかがでしょうか。

愚直なまでにモノづくりに拘るイギリスの職人たちに変わり、私達JAPAN社がJAMES GROSEの世界観やプロダクトを皆様にお伝えできればと思っています。



Gate
7

England





Joshua Ellis¹⁷⁶⁷



ジョシュア・エリス

Joshua Ellis



1767年、英国北部ヨークシャーで創業して以来、職人による伝統的な手法を守りながら品質の良い紡毛生地を作り続けてきたJOSHUA ELLIS(ジョシュア・エリス)。2021-22年秋冬シーズンは、3つのメインテーマに導かれて、穏やかかつポジティブに日々の着こなしをエンパワメントします。優美さや洒脱さを纏わせながら時代に寄り添うモダンで普遍的なデザインが、時を経ても変わらない魅力を放ち続けます。

TIMELESS

時勢が求めているのは安定性やサステナビリティ。ページやモノトーンなどのベーシックカラーを基軸にしたクラシックでエレガントなリバーシブルストールが、永遠に変わらない存在感を放ちます。通常バルキーで固くなりがちなダブルフェイスですが、約半分の太さの糸を使用することで柔らかく軽やかに。秋風の心地よい時期にはコート代わりに表情の変化を楽しんでも。

SPORTS

スポーツとの接点が近い現代のスタイルにモードなアクセントを。クラシックなブラックウォッチを20倍に拡大したコレクションは、上質なカシミアがスニーカーやスウェットに極上のコントラストを演出します。ジャイプルやピーコックなど特徴的で躍動感のある鮮やかなカラーが、まるで暗闇から解き放たれた光のようにポジティブな気持ちをもたらし、アクティブなライフスタイルを応援します。

COLORS

日々たゆたう感情の機微をカラーによってコントロールし、ウェルネスをもたらす成熟した大人のファッション。ヴァニラとチョコレートブラウンは優しさの中にクールさを宿し、ヴァニラとイエローキャメルは優しさにポジティブなイメージを、ヴァニラとオレンジxチョコレートブラウンは、優しさと暖かさを讃えます。太陽や海などの大自然をインスピレーションに導かれた穏やかなカラーリングが、生活に豊かさをもたらします。



England

Gate
9

プレディー

Plaidie

ブランド名に冠したPLAIDIEとは、古くはスコットランドの牧場で勢子(羊追い)が冬の寒さをしのぐために使用したマントの通称といわれ、現在のストールの起源とされるものです。由緒正しい歴史に敬意を表するPLAIDIEのコレクションは、英国服飾史におけるアイコン的な色や配色、柄といったエッセンスをコンテンポラリーに再解釈することで表現されています。それゆえ、クラシックでタイムレスでありながらも時代感や今の気分がしっかりと反映されているのが魅力です。素材には柔らかさと耐久性、保温性に優れるメリノウールが採用されているため、防寒具としてはもちろん装いを彩るアクセサリとしても秋から冬にかけて頼もしい存在となってくれるでしょう。今季は新作として、ペールトーンの3色がライン



PLAIDIE



クエスチオン

QWSTION



QWSTIONを代表するコレクションのひとつが、優れた軽量性と耐久性を誇るテクニカルファブリックの名を冠した「Biolight」です。2020年に誕生したばかりのコレクションで、バックパックやショルダータイプを中心としたラインナップで、撥水加工済みの生地は突然の雨にもしっかりと対応します。そのストラップには後述するサステナブル素材、Bananatex®製のストラップを使用。そして今季は新色としてブルーとサンドが加わります。



そして、もうひとつのが「Minimal」コレクションです。最大の特徴は、耐久性・耐水性に優れたサステナブル素材であるBANANATEX®を使用している点。原料であるバナナと同属のマニラ麻は、化学肥料や殺虫剤を使わずに1年で3-5mの高さまで成長する植物です。そして本コレクションでは、ハンドルやディテールに使用される素材にも天然成分由来を使用するなど環境に配慮したものの作りが徹底されています。今季は新作としてリュックにもなるトートタイプの新作が加わります。

絶えず変化し続ける社会の中で、研ぎ澄まされた私たちの感性が求めているもの。それは利便性に優れ、快適で、親しみが持て、生活にしっかりと寄り添い暮らしを豊かにするプロダクトです。そんな期待に応えてくれるのが、QWSTION。2008年にスイスのチューリッヒで創業して以来、「Questioning the norm(=“標準”を問い続ける)」を掲げてものづくりを続けているバッグブランドです。その最新作や定番コレクションには、現代を生きる私たちの期待に応えてくれるものばかりが揃っています。

QWSTIONの大きな魅力は、普遍的なデザイン・優れた機能性・サステナブルなものづくり。すべてのバッグは2-3WAY仕様というこだわりで、さまざまなシーンに合わせた用途や、持ち方ひとつでガラリと変わるその印象を楽しめるように考慮されています。そしてQWSTIONは“標準”を問い続けるからこそ、時代に合わせて常に進化し続けるバッグブランドでもあります。そんなブランドの哲学は今季リリースされた最新作にも見て取ることができます。

現代における最適な製品開発に努め、世の中の‘Question’を‘Solution’していくことでニーズに応えていくバッグブランド、それが『QWSTION』です。

QWSTION



タスティング
Tusting



TUSTINGは、1875年に英国・ノーザンプトンで創業したレザータンナーです。最高級の品質、耐久性、時代を超越したデザインを5代に渡り受け継いでいます。

創業以来、英国名門シューズブランドへ上質なレザーを提供し続けた歴史があり、1990年にオリジナルのレザーグッズをリリースし始めました。チャールズ皇太子も愛用する「フィッシング・バック」やハンティング用の「ガンケース」などのクラシカルなアウトドア製品をはじめ、上質なブリティッシュテイストのビジネスラインなど、現代のジェントルマンに欠かせない「新定番」となっています。

近年はレディスバッグのバリエーションを増やし、サコッシュや丸底バッグがコレクションに加わっています。

英国バッグ特有の質実剛健さは抑えられ、ビジネスからカジュアルまであらゆるシーンに自然に馴染むレザーバッグが生まれました。

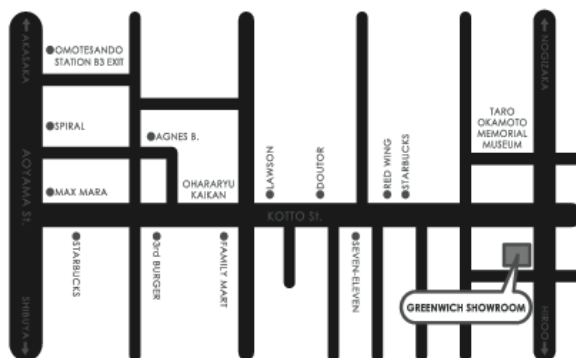


Gate
12

Japan



Contact Us



Greenwich Press Showroom

〒107-0062 港区南青山6-12-10 ユニティ 2F
T 03.5774.1662

www.greenwich-showroom.com

FB/Instagram [greenwich.showroom](https://www.facebook.com/greenwich.showroom)

Press Contact

小林リアン Reanne Kobayashi

reanne@greenwich-showroom.com

